

# 卵子提供の実態報告

## 岡大医学部でセミナー

卵子提供を巡る問題を考  
える公開セミナーが24日、  
岡山大学医学部で開かれた。

一般人の意識調査結果や、  
卵子提供を仲介する団体の  
活動内容、海外での卵子ビ  
ジネスの危うい実態など多  
様な角度からの報告を約60  
人の参加者は熱心に聴き、  
活発に質問を繰り返した。

班の調査結果を報告。  
続いて、匿名の第三者か  
らの卵子提供を仲介するN  
PO法人「ODINET」  
(神戸市)の岸本佐智子代  
表が講演した。自分の娘が  
生まれつき卵巣がなかった  
ことが活動の原点であると  
話し、「卵子を提供する  
人、必要とする人、生まれ  
てくる子、すべてを尊重で  
きるよう、調和のとれた法  
整備が必要」と訴えた。



法や生命倫理の専門家が  
出自を知る権利や卵子提供  
の「対価」について問題提  
起。米国やインド、中国  
で、若い女性の卵子を募る  
業者が活動する「卵子ビジ  
ネス」が広がり、深刻な健

康被害も起きているという  
実態報告もあった。

参加者からは「ルールが  
定まらないまま事態が進  
み、現場は混乱している」  
「何を知れば『自分の出  
自』を知ることになるの  
か」などの意見や質問が出  
た。

(中村通子)